

## ○長期的なプランクトンの変化と水質への影響を考える

「琵琶湖におけるプランクトン等の長期変遷に関する解析モニタリング」(2008年－2010年)

コーディネーター：一瀬 諭

琵琶湖におけるアオコ形成種等の長期的な変遷を把握し、プランクトン相の変化や現存量を解析するとともに、水質に与える影響を評価します。

### 研究の概要

琵琶湖の水質評価は、水質・生態系の両面から考える必要があります。

ここでは、プランクトンの現状について調査し、化学的な分析結果による評価と併せて水質の評価・解析を行います。

取り組む内容は次の3つです。

○琵琶湖のプランクトンの現状についての調査および化学分析結果と併せた水質の評価・解析

○琵琶湖での植物プランクトンの経年的・季節的動向解析およびモニタリング方法の確立

○琵琶湖での動物プランクトンの種組成の変化、経年的・季節的動向解析およびモニタリング方法の確立

